

科目コード	A312
授業科目名	精神看護学実習
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Mental Health Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	45
該当ディプロマ	◎看DP-2、看DP-3、看DP-4
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	児玉 豊彦
授業の概要	精神に障がいを持つ人を一人の人間として理解し、治療的な患者—看護者関係を活用しながら、セルフケア拡大に向けた援助を展開する。受け持ち患者への援助や社会資源の見学を通して、精神看護のあり方や今後の課題について考察する。
授業の到達目標 (学修効果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神に障がいを持つ人を全人的に理解することができる。</li> <li>2. 共感的な理解に基づいた援助関係を形成し、発展させ、終結することができる。</li> <li>3. 臨床判断に基づき、看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 精神障がい者を地域で支えるためのサポート資源の一部を見学し、社会復帰に向けた援助のあり方を理解できる。</li> <li>5. 学生企画による病棟レクリエーションの実施を通して、精神障がい者に対するリハビリテーションについて考察し、その中での看護者の役割を理解することができる。</li> <li>6. 精神に障がいを持つ人との関わりを通して、自己理解を深めることができる。</li> <li>7. 精神障がい者に対する人権の尊重及び人権擁護の重要性について学び、看護における倫理的配慮のあり方について理解することができる。</li> <li>8. 治療的な環境作りと看護者の役割について理解することができる。</li> <li>9. 病院で提供される医療、看護、福祉の実際を学び、今後の課題と方向性について考察することができる。</li> </ol>
予習復習の所要時間	実習時間90時間
成績評価方法	実習評価(40%)、実習態度評価(40%)、レポート評価(20%)とし、60点以上を合格とする。
教科書	これまでの講義資料を参考にすること
参考書	<p>萱間真美・野田文隆編集「精神看護学I 精神保健・多職種のつながり改訂第2版」 ISBN-13: 978-4524257638</p> <p>萱間真美・野田文隆編集「精神看護学II 臨床で活かすケア改訂第2版」 ISBN-13: 978-4524257645</p> <p>田中美恵子編著「精神看護学 学生—患者のストーリーで綴る実習展開」(医歯薬出版) ISBN-13: 978-4263236734</p> <p>宇佐美しおり他、Patricia Underwood「オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開」(ヌーヴェルヒロカワ) ISBN-13: 978-4902085570</p>
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

A312

精神看護学実習

令和4年度

授業計画(臨地実習・卒業研究)

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：学内オリエンテーション、病棟オリエンテーション 2～3日目：病棟実習 4日目：学外施設見学実習 5日目：病棟実習（病棟カンファレンス）	・実習の手引きを用いてオリエンテーションを行う ・技術演習 ・見学実習	児玉 豊彦 高木 幸子
2	第2週目	1日目：病棟実習（プロセスレコード演習） 2日目：病棟実習（事例検討会） 3日目：病棟実習（学生レクリエーション） 4日目：病棟実習（病棟カンファレンス） 5日目：実習まとめ（教員との面談）	・技術演習 ・学生レクリエーションは学生が企画・実施する	児玉 豊彦 高木 幸子